報告事項

鳥栖市転入者アンケートの実施について

平成30年２月15日
鳥栖市企画政策部総合政策課
まち・ひと・しごと創生推進室

鳥栖市転入者アンケート

1　目的

本市の総人口は、転入超過による社会増によって増加を続けているが、本市への転入理由については、転入者の年代など統計上の数値から類推している状況に留まっている。そのため、転入者に転入理由などを直接質問するアンケートを行うことで、**本市における社会動態の背景をより具体的に把握**し、調査結果を蓄積していくことによって、本市の**社会動態における強みや弱みの明確化**を図り、**さらなる定住人口獲得に向けた政策形成**に繋げていくことを目的とする。

2　実施内容

次のような役割分担のもと、継続的にアンケート調査を実施する。

(1)　市民課

転入者が住民異動届を提出する際に、転入者アンケート（別紙）を渡して協力を依頼する。転入者には異動処理の待ち時間中にアンケートに回答いただき、回収ボックスにアンケート用紙を投函する。

(2)　総合政策課

アンケート用紙を回収し回答内容の集計を行う。集計結果については、鳥栖市まち・ひと・しごと創生本部会議、鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議等において公表し、“鳥栖発”創生総合戦略の推進および定住人口獲得施策を検討していく上での基礎データとする。

3　実施状況

(1)　平成 29 年 11 月 1 日より開始

(2)　回答件数　166 件（11 月 1 日～12 月 28 日の 38 日／ 1 日あたり平均 4.4 件の回答）

(3)　1 日当たり転入届出件数　平均 10.9 件

平成 28 年	転入届出件数	開庁日（平日のみ）	1 日あたり転入届出件数
4 月	404	20	20.2
5 月	224	19	11.8
6 月	174	22	7.9
7 月	198	20	9.9
8 月	185	22	8.4
9 月	182	20	9.1
10 月	226	20	11.3
11 月	158	20	7.9
12 月	135	19	7.1
1 月	134	19	7.1
2 月	160	20	8.0
3 月	475	22	21.6
合計	2,655	243	10.9

ようこそ、鳥栖市へ！

平成30年　　月　　日

転入者アンケートにご協力ください

鳥栖市にお住まいいただきありがとうございます。鳥栖市では転入される方にアンケートを行い、今後の人口増加施策に役立てたいと考えています。いただいた回答は統計的に処理し、市の移住推進の取組以外では使用いたしません。アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

鳥栖市イメージキャラクター・とっとちゃん

問１．世帯主の方の性別

１．男　　２．女

問２．世帯主の方の年齢

１．１０代　　２．２０代　　３．３０代　　４．４０代
５．５０代　　６．６０代以上

問３．家族構成

１．一人世帯 ➡ **問５へ**　　２．夫婦のみ ➡ **問５へ**　　３．夫婦と子ども
４．三世代同居　　５．その他（　　）

問４．世帯内のお子さまの人数（カッコ内に人数をお書きください）

１．未就学児（　　）人　　２．小学生　（　　）人　　３．中学生（　　）人
４．高校生　（　　）人　　５．18歳以上（　　）人

問５．転入前のご住所はどちらですか？

都道府県名（　　都道府県）
市区町村名（　　）　　【記入例】福岡市中央区、久留米市

問６．勤務地または通学先はどちらですか？

１．鳥栖市内　　２．鳥栖市外 ➡ 市区町村名（　　）
【記入例】福岡市博多区、筑紫野市

問７．転入された一番の理由は何ですか？（最も近いものを１つ選んでください）

１．転勤　　２．就職・転職　　３．結婚　　４．進学　　５．住宅の購入
６．子どもの都合　　７．条件の良い物件への住み替え　　８．親と同居するため
９．Ｕターン　　10．その他（　　）

問８．鳥栖市を選んだ理由は何ですか？（あてはまるものすべて選んでください）

１．通勤・通学が便利　　２．仕事・通学の都合上　　３．住環境が良い
４．気に入った物件があった　　５．まちのイメージが良い　　６．買い物が便利
７．子育て環境が良い　　８．教育環境が良い　　９．まちに将来性がある
10. サガン鳥栖が好き　　11. 地縁や血縁　　12.その他（　　）

➡ 裏面につづく

問９．鳥栖市以外に転居先の候補地はありましたか？

１．なかった ➡ **問10へ**

２．あった

都道府県名（　　都道府県）

市区町村名（　　）　【記入例】 福岡市南区、小郡市

問10．鳥栖市では移住の取組を推進しています。移住者インタビューなどの取材を「受けてもよい」と思われる方は、ご連絡先をお教えください。

わたしが鳥栖を選んだ理由。
移住者インタビュー　Vol.1

TOSU CITY!

山田裕子さん（30代、独身が主 女性）

移住時期　2008年
勤務地　福岡市
家族構成　夫・長女・次女

仕事と子育て、いいタイミングでした

―鳥栖市へ移り住まれたきっかけを教えてください

職場が福岡市内のため、社会人になってからは福岡市内に住み、結婚を機に13年ほど前から佐賀市に住んでいました。8年前、主人が佐賀市と鳥栖市を行き来するような仕事をしていて、ちょうど鳥栖市での仕事の比重が大きくなってきたときでした。そんな時に、知り合いに現在の住居を紹介してもらった縁もあり、鳥栖に移り住むことになりました。長女を妊娠していた時でした。

結婚して佐賀市に住んでいたころは、高速バスで毎日片道2時間ほどかけて通勤していました。夫婦二人の頃は、それで何とかやっていけていたのですが、「子どもができたら今の仕事を続けるのは無理だろうな」と感じていました。

そんなときに、鳥栖市に住むことになったため、すごくいいタイミングだったなと思います。

―福岡市内への通勤はいかがですか？

博多駅まで快速で25分で、自宅から職場まで1時間以内で通勤できています。通勤時間は以前の半分以下になりました。

福岡市内に住んでいたころは、交通の便があまりいいところではなかったため車で通勤していましたが、渋滞しますし、特に雨の日などは1時間近くかかることもありました。職場の同僚にも通勤時間も変わらないから「鳥栖がいいよ」と勧めています(笑)。

ノンストレスで「ちょうどいい」街

―実際に暮らしてみて、感じる鳥栖の魅力は

私にとって「ノンストレス な街」だなと感じました。通勤・子育て環境・生活環境と、すべてが「ちょうどいい」。むしろ、恵まれた環境に感謝です。

近所には同じ子育て世代の方が多いため、子どもは友だちも多く、小学校も近くて通いやすく安全面も安心で、子育てにはすごくいい環境だなと思います。車で近隣に行ける場所も多いので、ちょっとしたお出掛けも選択肢が広がります。

―鳥栖市への移住を検討されている方へのメッセージをお願いします

交通の便もいいし、子どもも安心して育てられる環境で、とても住みやすいまちです。近所にも同じ子育て世代も多いので、協力し合ってみんなで子育てしていることが感じられると思います。

鳥栖市ウェルカムガイド「移住者インタビュー」

お名前	
ご住所	鳥栖市
お電話番号	（　　）　　－

ご記入いただいた個人情報は、厳重に管理し鳥栖市への移住推進に関する業務以外に使用いたしません。

ご協力ありがとうございました。

鳥栖市企画政策部総合政策課
まち・ひと・しごと創生推進室
TEL 0942-85-3511
MAIL sougou@city.tosu.lg.jp

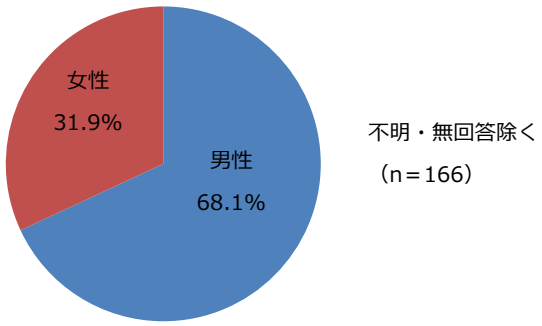
平成29年度　鳥栖市転入者アンケート〔H29.11.1～H29.12.28〕

【アンケート結果】　回答者数　166件

問１.世帯主の性別

		回答数	比率
1	男性	113	68.1%
2	女性	53	31.9%
a	有効回答者数（人）	166	
b	不明・無回答(人)	0	
	回答者数（人）　a＋b	166	

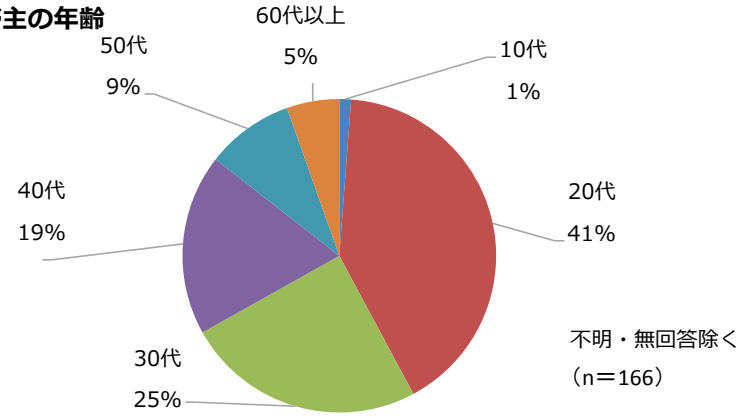
問１　世帯主の性別



問２.世帯主の年齢

		回答数	比率
1	10代	2	1.2%
2	20代	68	41.0%
3	30代	41	24.7%
4	40代	31	18.7%
5	50代	15	9.0%
6	60代以上	9	5.4%
a	有効回答者数（人）	166	
b	不明・無回答(人)	0	
	回答者数（人）　a＋b	166	

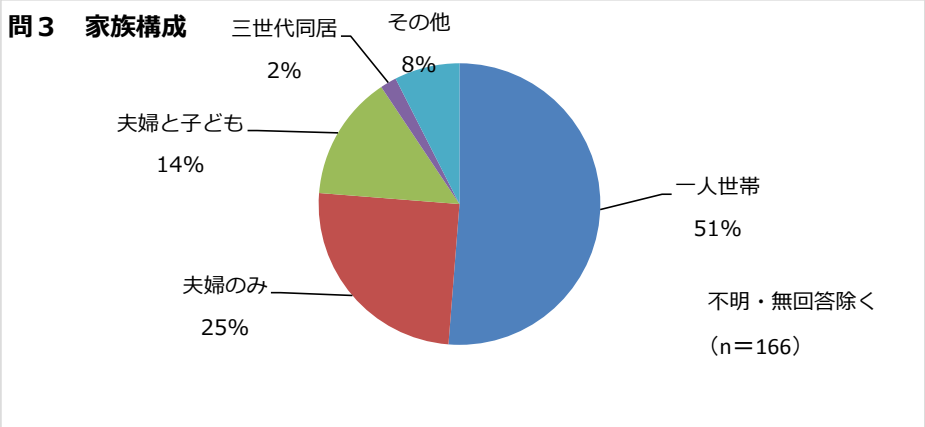
問２　世帯主の年齢



若年世代は、就職、転職、結婚、出産、住宅取得などライフイベントが多いため当然の結果ではあるが、20代、30代だけで全体の７割近くを占めている。

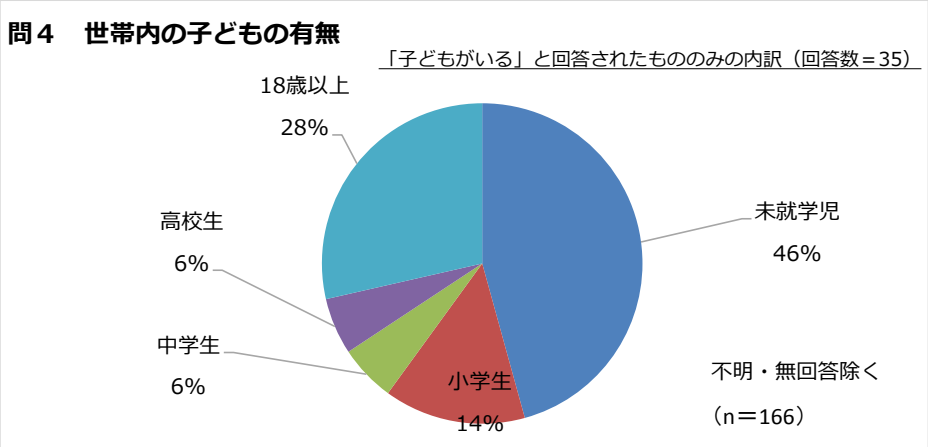
問３.家族構成

		回答数	比率
1	一人世帯	82	51.3%
2	夫婦のみ	40	25.0%
3	夫婦と子ども	23	14.4%
4	三世代同居	3	1.9%
5	その他	12	7.5%
a	有効回答者数（人）	160	
b	不明・無回答(人)	6	
回答者数（人）　a＋b		166	



問４.世帯内の子どもの有無

		回答数	比率
1	未就学児	16	7.4%
2	小学生	5	2.3%
3	中学生	2	0.9%
4	高校生	2	0.9%
5	18歳以上	10	4.6%
6	子供なし	185	85.3%
a	有効回答者数（人）	217	
b	不明・無回答(人)	4	
回答者数（人）　a＋b		221	

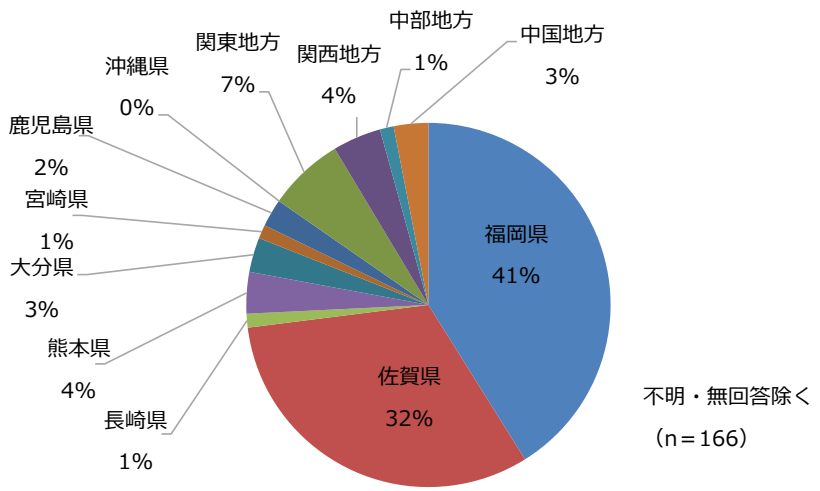


「家族構成」については、世帯当たり人数が減少を続けていることを裏付けるように、一人世帯だけで半数以上を占めている。「世帯内の子どもの有無」については、子どもがいる世帯の場合は未就学児や小学生などの低年齢層の子どもの割合が高く、子どもの年齢と居住地変更の間には一定の関連性があると考えられる。

問５.転入前の住所地①（都道府県）

		回答数	比率
1	北海道	1	0.6%
2	青森県	0	0.0%
3	岩手県	0	0.0%
4	宮城県	0	0.0%
5	秋田県	0	0.0%
6	山形県	0	0.0%
7	福島県	0	0.0%
8	茨城県	0	0.0%
9	栃木県	1	0.6%
10	群馬県	0	0.0%
11	埼玉県	5	3.0%
12	千葉県	1	0.6%
13	東京都	2	1.2%
14	神奈川県	2	1.2%
15	新潟県	0	0.0%
16	富山県	1	0.6%
17	石川県	0	0.0%
18	福井県	0	0.0%
19	山梨県	0	0.0%
20	長野県	0	0.0%
21	岐阜県	0	0.0%
22	静岡県	0	0.0%
23	愛知県	1	0.6%
24	三重県	0	0.0%
25	滋賀県	0	0.0%
26	京都府	0	0.0%
27	大阪府	2	1.2%
28	兵庫県	4	2.4%
29	奈良県	1	0.6%
30	和歌山県	0	0.0%
31	鳥取県	0	0.0%
32	島根県	1	0.6%
33	岡山県	0	0.0%
34	広島県	4	2.4%
35	山口県	0	0.0%
36	徳島県	0	0.0%
37	香川県	0	0.0%
38	愛媛県	1	0.6%
39	高知県	0	0.0%
40	福岡県	67	40.6%
41	佐賀県	52	31.5%
42	長崎県	2	1.2%
43	熊本県	6	3.6%
44	大分県	5	3.0%
45	宮崎県	2	1.2%
46	鹿児島県	4	2.4%
47	沖縄県	0	0.0%
48	海外	0	0.0%
a	有効回答者数（人）	165	
b	不明・無回答(人)	1	
	回答者数（人）　a＋b	166	

問５　転入前の住所地①　九州内県別・全国ブロック別



問５.転入前の住所地②（市区町村）

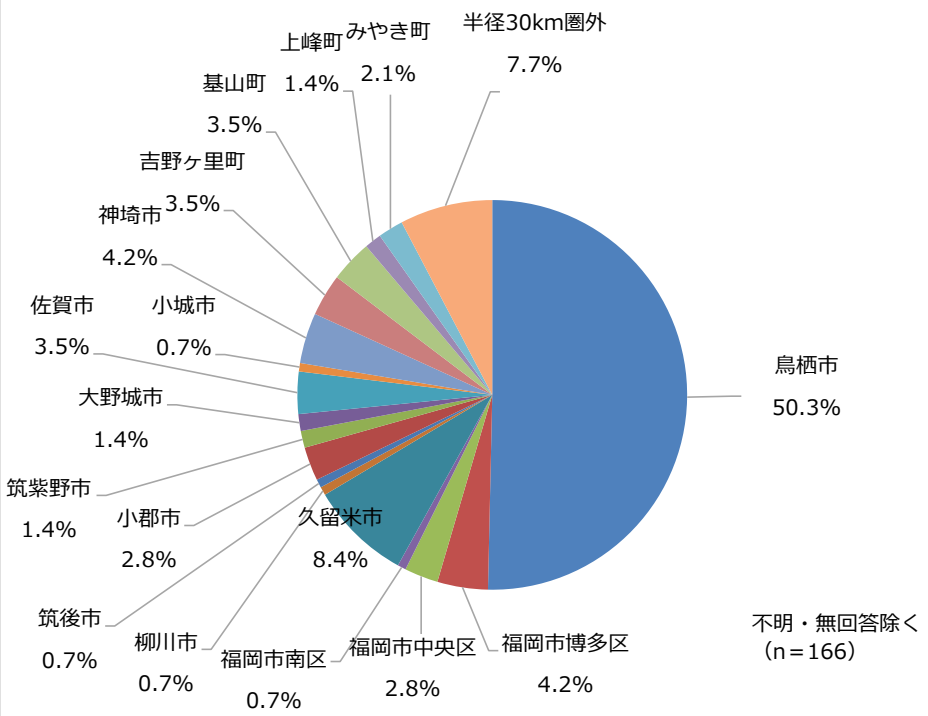
	福岡県（半径30km圏内の市区町）+県内市町	回答数	比率
1	福岡市博多区	6	3.7%
2	福岡市中央区	4	2.4%
3	福岡市南区	3	1.8%
4	福岡市西区	1	0.6%
5	福岡市城南区	1	0.6%
6	福岡市	3	1.8%
7	久留米市	20	12.2%
8	筑後市	1	0.6%
9	大川市	1	0.6%
10	小郡市	3	1.8%
11	筑紫野市	3	1.8%
12	春日市	1	0.6%
13	大野城市	1	0.6%
14	太宰府市	4	2.4%
15	うきは市	2	1.2%
16	みやま市	1	0.6%
17	那珂川町	1	0.6%
18	筑前町	1	0.6%
19	大刀洗町	1	0.6%
20	大木町	2	1.2%
21	佐賀市	16	9.8%
22	唐津市	1	0.6%
23	多久市	1	0.6%
24	伊万里市	2	1.2%
25	小城市	4	2.4%
26	嬉野市	2	1.2%
27	神埼市	5	3.0%
28	吉野ヶ里町	3	1.8%
29	基山町	9	5.5%
30	みやき町	5	3.0%
31	半径30km圏外	56	34.1%
a	有効回答者数（人）	164	
b	不明・無回答(人)	2	
	回答者数（人）　a＋b	166	

転入前の住所地を市区町村別に見ると、福岡県の市区町と鳥栖市から半径30Km圏内の町村で全体の「65.9%」を占めており、そのうち福岡県の市区町村が「36.6%」、佐賀県側が「29.3%」となっており、鳥栖市人口ビジョンにもあるように近隣市区町村からの転入が多い状況が継続している。

問６.勤務地または通学先

	福岡県（半径30km圏内の市区町）+県内市町	回答数	比率
1	鳥栖市	72	50.3%
2	福岡市博多区	6	4.2%
3	福岡市中央区	4	2.8%
4	福岡市南区	1	0.7%
5	久留米市	12	8.4%
6	柳川市	1	0.7%
7	筑後市	1	0.7%
8	小郡市	4	2.8%
9	筑紫野市	2	1.4%
10	大野城市	2	1.4%
11	佐賀市	5	3.5%
12	小城市	1	0.7%
13	神埼市	6	4.2%
14	吉野ヶ里町	5	3.5%
15	基山町	5	3.5%
16	上峰町	2	1.4%
17	みやき町	3	2.1%
18	半径30km圏外	11	7.7%
a	有効回答者数（人）	143	
b	不明・無回答(人)	23	
	回答者数（人）　a＋b	166	

問６　勤務地または通学地



勤務地または通学地としては、鳥栖市内が半数を占めている。次いで、半径30Km圏内の福岡県の市区町が「23.1%」、佐賀県の市町は「18.9%」となっており、本市の福岡県との経済的な結びつきの強さを裏付ける結果となっている。

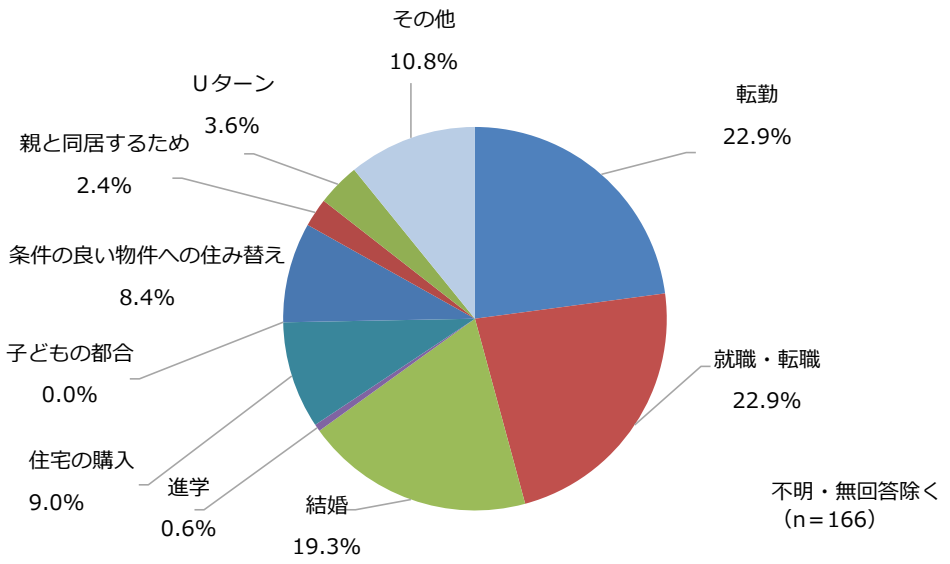
問７.転入された一番の理由

		回答数	比率
1	転勤	38	22.9%
2	就職・転職	38	22.9%
3	結婚	32	19.3%
4	進学	1	0.6%
5	住宅の購入	15	9.0%
6	子どもの都合	0	0.0%
7	条件の良い物件への住み替え	14	8.4%
8	親と同居するため	4	2.4%
9	Ｕターン	6	3.6%
10	その他	18	10.8%
a	有効回答者数（人）	166	
b	不明・無回答(人)	0	
回答者数（人）　a＋b		166	

問７-②.「その他」の主な内容一覧

1	離婚
2	家族の必要のため
3	ペット可物件があった
4	独立
5	親の介護施設入所に伴う引越し
6	引越し
7	商売

問７　転入された一番の理由



転勤、就職・転職など、仕事に関することが転入理由の「45.8%」を占めている。次いで、結婚、住宅の購入と続いており、市内に雇用の場があることが転入者獲得につながっているものと考えられる。

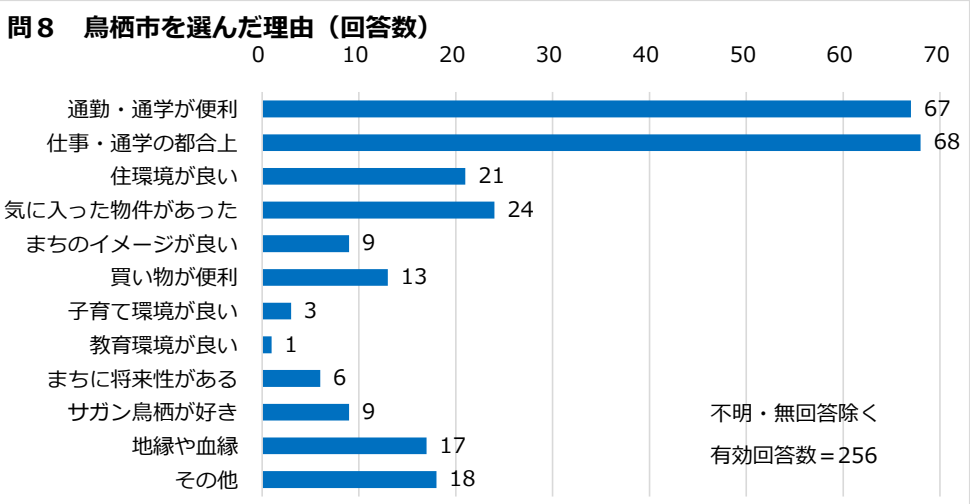
問８.鳥栖市を選んだ理由は何ですか？（複数回答可）

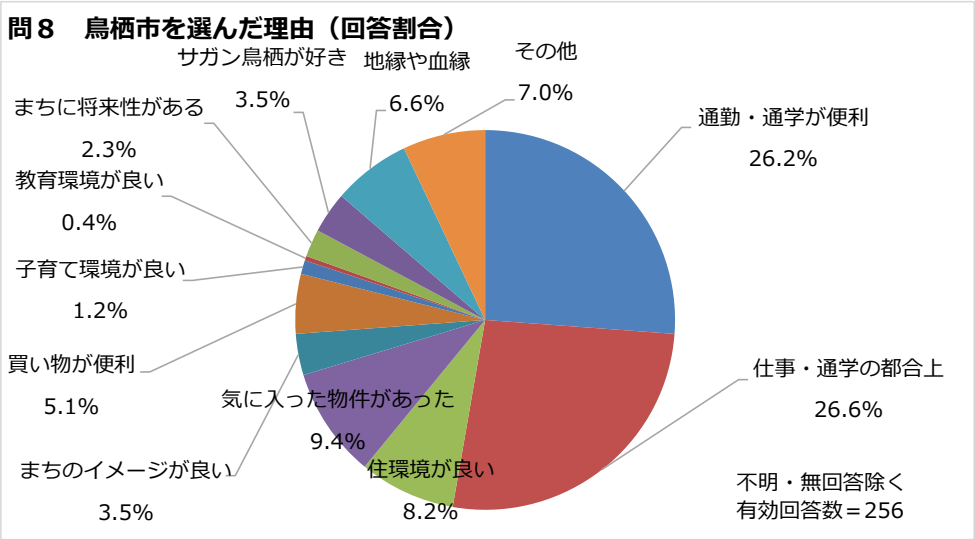
		回答数	比率
1	通勤・通学が便利	67	26.2%
2	仕事・通学の都合上	68	26.6%
3	住環境が良い	21	8.2%
4	気に入った物件があった	24	9.4%
5	まちのイメージが良い	9	3.5%
6	買い物が便利	13	5.1%
7	子育て環境が良い	3	1.2%
8	教育環境が良い	1	0.4%
9	まちに将来性がある	6	2.3%
10	サガン鳥栖が好き	9	3.5%
11	地縁や血縁	17	6.6%
12	その他	18	7.0%
a	有効回答数（件）	256	
b	不明・無回答(人)	6	
	回答者数（人）　a＋b＋c	262	

※比率は有効回答数に占める割合

問8-②.「その他」の主な内容一覧

1	知人と同居

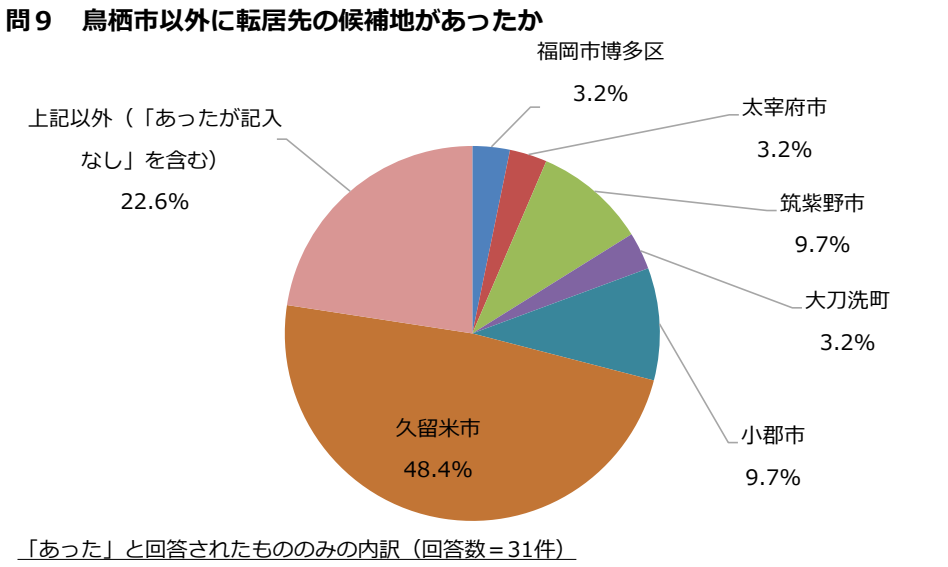




鳥栖市を選んだ理由は、「通勤・通学が便利」、「仕事・通学の都合上」が圧倒的に多く、日々の通勤時の利便性や職住接近の住環境などが居住地選択時に重要視されていることが分かる。

問９.鳥栖市以外に転居先の候補地があったか

		回答数	比率
1	なかった	91	74.6%
2	福岡市博多区	1	0.8%
3	太宰府市	1	0.8%
4	筑紫野市	3	2.5%
5	大刀洗町	1	0.8%
6	小郡市	3	2.5%
7	久留米市	15	12.3%
8	上記以外（「あったが記入なし」を含む）	7	5.7%
a	有効回答者数（人）	122	
b	不明・無回答(人)	44	
回答者数（人）　a＋b		166	



ほとんどが本市以外に転居先の候補地はなかったと回答されているが、候補地があった場合には、佐賀県内ではなく久留米市を中心とした福岡県側の近隣市が候補地となっている。